

---

# Tiny Basic for Windows 導入編

tbasic.org \*1

[2013 年 11 月版]

---

## 目次

1	Tiny Basic for Windows のインストール	2
1.1	ファイルのダウンロード	2
1.2	ファイルの解凍	3
1.3	tbasic の起動と終了	3
1.4	tbasic での環境設定	4
2	Tiny Basic for Windows の更新	9
2.1	ファイルのダウンロード	10
2.2	ファイルの解凍	10
2.3	更新作業	10
2.4	更新の確認	10
3	Tiny Basic for Windows の削除	10
3.1	レジストリに環境設定と関連付けを共にしなかった場合	10
3.2	環境設定をレジストリにした場合	11
3.3	関連付けをした場合	11

---

\*1 <http://www.tbasic.org>

## 1 Tiny Basic for Windows のインストール

コンピュータ上で、あるソフトウェアを使うためにはまず、そのソフトウェアをコンピュータに組み込む必要があります。この作業を**インストール (install)** と言います。コンピュータによっては購入時に既に多くのソフトウェアが組み込まれていて、改めてインストールをしなくてもすぐに使用できる状態になっているものもあります。このようなものを**プリインストール (pre-install)** されたソフトウェアといいます。

Tiny Basic for Windows (以下では **tbasic** と表します。) はプリインストールされているソフトウェアではありませんので、これを使用する場合は必ずインストールしなければなりません。**tbasic** のインストールは以下に示すように、単純で簡単です。

### ■インストールの手順

- (1) ファイルのダウンロード
- (2) ファイルの解凍
- (3) **tbasic** の起動と終了
- (4) **tbasic** での環境設定

以下順を追って説明します。

### 1.1 ファイルのダウンロード

**tbasic** はいくつかのサイトからダウンロード出来ますので、適当なところからファイルをダウンロードして下さい。最新版はホームページ<sup>\*2</sup> からダウンロードできます。

ダウンロード用のファイルは幾種類かあります。最新版の Tiny Basic Set をダウンロードすることをお奨めします。Tiny Basic Set は公開しているファイルを圧縮して一つに纏めたもので、これですべて揃います。

Tiny Basic Set は

tbw\*\*\*set.zip

の形式をしたものです。ここで **\*\*\*** はバージョン番号を表しています。

これらのファイルは圧縮してありますので、これを解凍する必要があります。tbw\*\*\*set.zip は zip 形式圧縮ファイルです。これを解凍するには zip 解凍ツールが必要になりますが、Windows Vista 以降の OS では、zip 解凍ツールが標準装備されています。ですから特別に zip 解凍ツールを準備する必要はありません。

ダウンロードするには、ファイルのあるところをクリック、あるいはダブルクリックすることでダウンロードが開始されます。ファイルを保存するか開くかと聞かれた場合は、保存を選択して、コンピュータの適当な場所に保存して下さい。デスクトップに保存しても構いません。

---


<sup>\*2</sup> <http://www.tbasic.org>

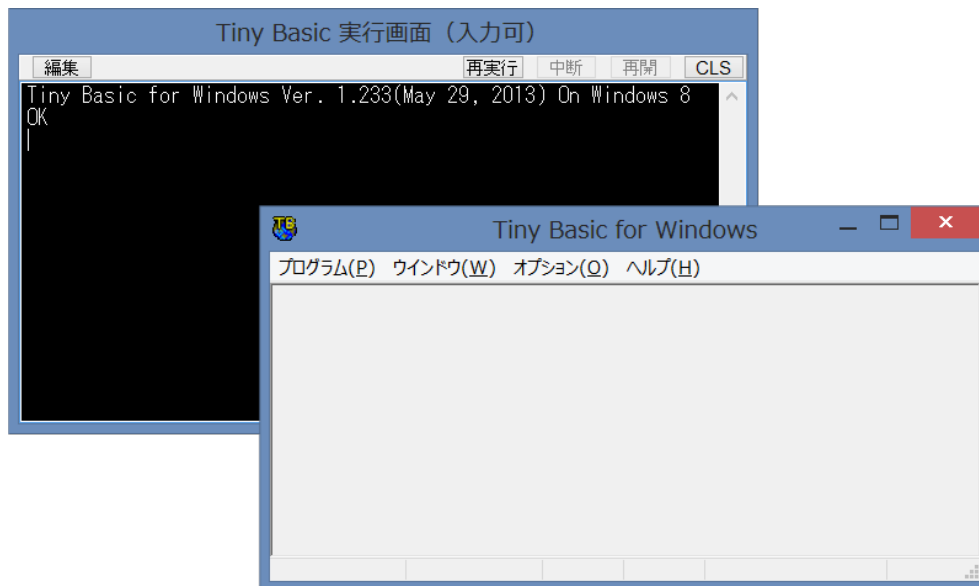
## 1.2 ファイルの解凍

ダウンロードしたファイルは圧縮されていますから、解凍する必要があります。圧縮されているファイルをもとのファイルに戻すことを**解凍**と言います。

zip 形式のファイルを解凍するには、「ファイルを指定して、右クリックし、すべて展開」を選択して解凍してください。解凍する場所はどこでも構いません。デスクトップや、ドキュメントフォルダなど好みの場所に展開してください。

## 1.3 tbasic の起動と終了

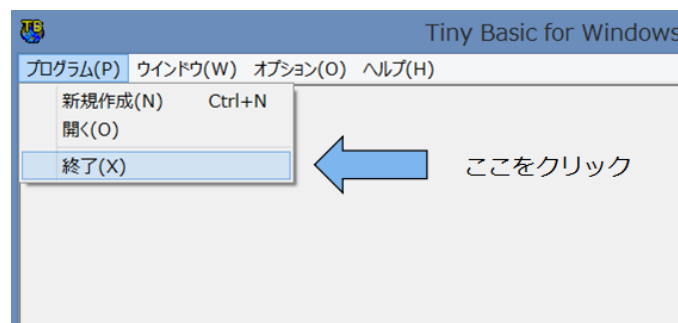
tbasic 本体は TBasic フォルダの中にある TBasic.exe  です。このアイコンをダブルクリックすることで tbasic が起動します。起動直後の画面は次のようになります。



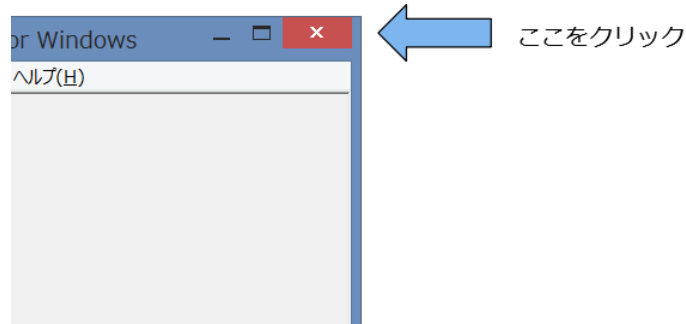
左上の画面が実行画面で、計算結果を表示したり、ダイレクトモードでの実行をする画面です。右下の画面が編集画面で、プログラムの作成などを行う画面です。

tbasic の終了は普通、編集画面で行います。

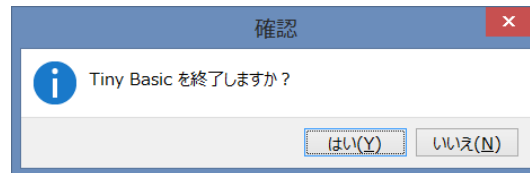
終了はメニューバーのプログラム (P) をクリックし、そのポップアップメニューの終了 (X) をクリック、



または、タイトルバーも右端の×アイコンをクリックします。



そうすると、終了確認のメッセージボックスが出ます。



これで  をクリックして下さい。これで tbasic の終了です。

## 1.4 tbasic での環境設定

### 1.4.1 環境設定の種類

tbody>tbasic は好みや、色々な環境に合わせて使えるように、工夫されています。状況に合わせて設定することを **環境設定** と言います。tbody>tbasic での環境設定の方法は3種類あります。

- (1) 何も設定しない
- (2) レジストリに設定をする
- (3) ini ファイルに設定する

以上を簡単に説明します。

#### (1) 何も設定しない

「何も設定しない」はいちばん簡単です。この場合、tbody>tbasic は標準的な環境として動作します。最初はこれで少し使ってみるのが良いでしょう。環境設定はいつでも設定しなおすことができます。

少し tbody>tbasic を使い慣れ作るといくつかの環境を自分の好みにしたくなるかもしれません。tbody>tbasic ではかなりの部分好みに応じて設定できるようになっています。

#### (2) レジストリに設定する

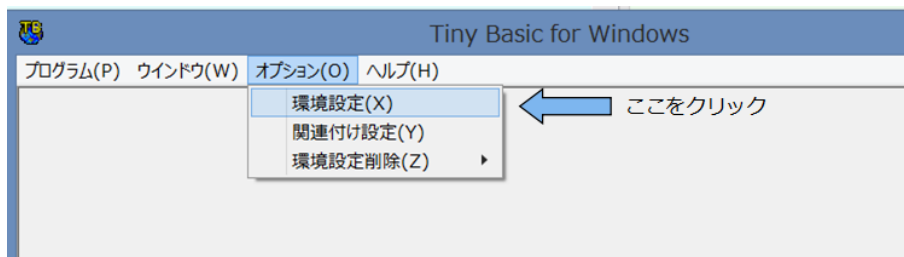
「レジストリに設定する」は自分のパソコンで使用する場合の最も普通の方法です。設定した結果はレジストリに保存されます。普通この内容は tbody>tbasic では見ることはできませんが、そうでない場合は、レジストリエディターという特殊なツールを使わないと見ることはできません。

## (3) ini ファイルに設定する

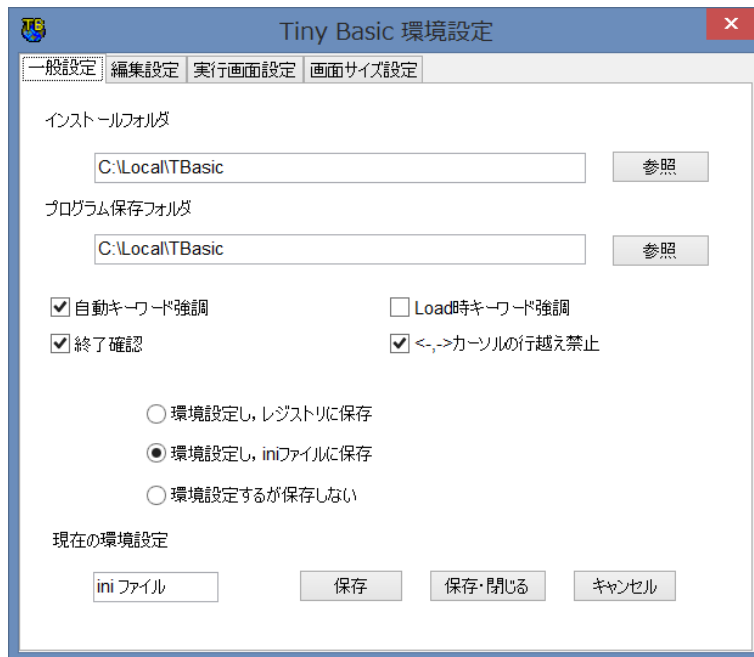
「ini ファイルに設定する」は TBasic.exe のあるフォルダに TBasic.ini というファイルを作成して、それに環境を設定するものです。個人使用でないパソコンで実行する場合などに使用します。

## 1.4.2 環境設定法

(2), (3) での設定を行う場合は、メニューバーのオプション (O) をクリックし、そのポップアップメニューの環境設定をクリックして下さい。



そうすると環境設定メニューが表示されます。



環境設定は4つの画面から構成されています。上部のタブを選択することでそれぞれの画面を表示することが出来ます。上の画面は、一般設定の画面です。この画面では次の項目を設定します。

## ■一般設定

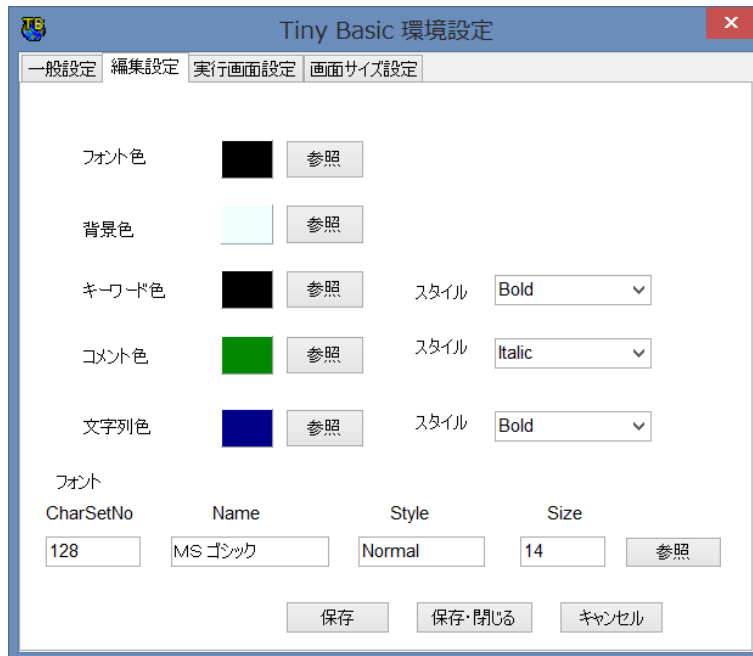
この画面では tbasic の動作での全体的な設定を行います。

- ヘルプファイルフォルダ：ヘルプファイルフォルダはヘルプファイルと Basic 入門のファイルを置く場所です。デフォルトは tbasic の本体である TBasic.exe があるフォルダになります。

- プログラム保存フォルダ：プログラム保存フォルダは tbasic のプログラムを保存する場所です。起動後最初に [プログラム]-[開く] を実行すると、このフォルダが開きます。
- フォルダの選択は、右の参照ボタンを押して選択することが出来ます。  
自動書式設定チェックボタン：ここにチェックを入れておくと、編集時キーワードやコメント文、文字列などが色分けされます。ここでは書式整形と呼ぶことにします。書式整形で色分けの設定は、編集画面で設定することができます。
- Load 時自動書式整形チェックボタン：ここにチェックを入れておくと、プログラムを開いたとき、読み込むプログラムが書式整形されます。大きなプログラムを開くと時間がかかることがありますので、大きなプログラムを頻繁に使う場合ははずしておくのが良いでしょう。
- ←, →キーでの行越禁止チェックボタン：ここにチェックを入れておくと、←, →キーでの行越ができなくなります。この場合、行越えは↑と↓で行います。慣れるとこのチェックを入れて使用したほうが使いやすい場合があります。
- 終了確認：ここにチェックを入れておくと、tbasic 終了時に、終了確認のメッセージボックスが出ます。初期設定はチェックが入っていますが、慣れてこの確認メッセージが不要と思ったらチェックを外します。
- 設定ラジオボタン：設定をどのように扱うかのボタンです。すべての環境設定はチェックの入った設定で扱われます。  
これらを設定して、OKアイコンをクリックすれば設定されます。

## ■編集設定

編集タブを押すと編集設定画面になります。



この画面では、編集画面の設定を行います。

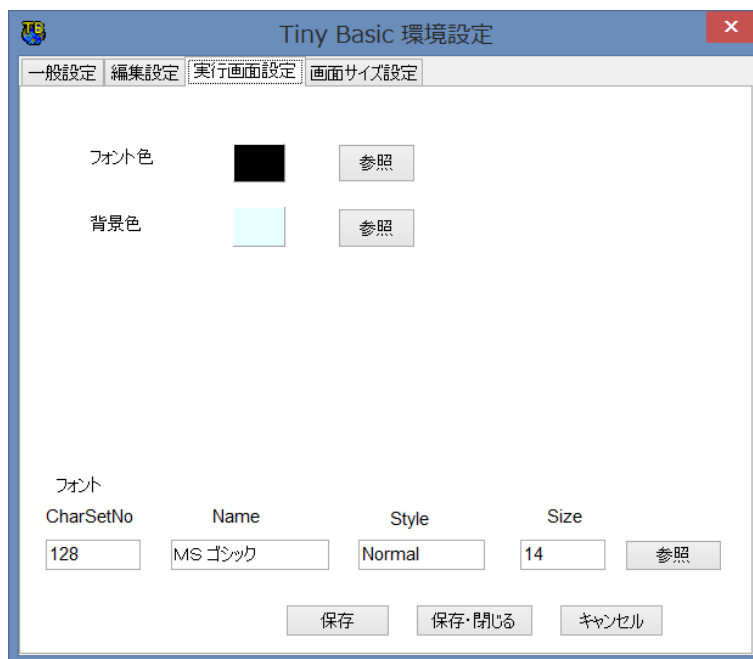
- フォント色：フォント色は編集画面で用いるフォントの色です。参照ボタンで好みの色に設定でき

ます。

- 背景色：背景色は編集画面の背景色です。参照ボタンで好みの色に設定できます。
- キーワード色：キーワード色は書式整形を行うときのキーワードの色です。参照ボタンで好みの色に設定できます。スタイルはキーワードのフォントのスタイルを指定します。コンボボックスで太文字や斜体などの設定ができます。
- コメント色：コメント色は書式整形を行うときのコメントの色です。参照ボタンで好みの色に設定できます。スタイルはコメントのフォントのスタイルを指定します。コンボボックスで太文字や斜体などの設定ができます。
- 文字列色：文字列色は書式整形を行うときの文字列の色です。参照ボタンで好みの色に設定できます。スタイルは文字列のフォントのスタイルを指定します。コンボボックスで太文字や斜体などの設定ができます。
- フォント：フォントは編集画面で使うフォント名や大きさを指定します。参照ボタンを押して設定します。

## ■実行画面設定

実行画面設定タブを押すと実行画面設定画面になります。

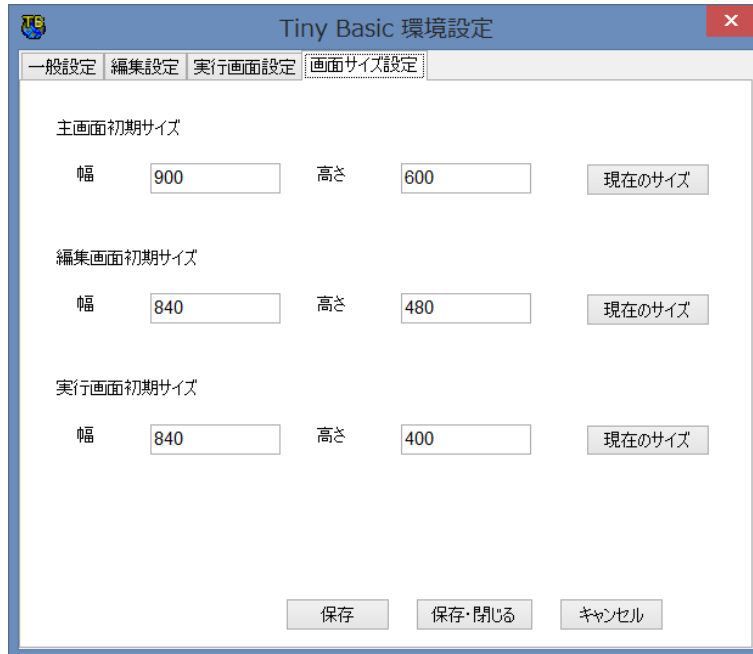


この画面では、実行画面の設定を行います。

- フォント色：フォント色は実行画面で用いるフォントの色です。参照ボタンで好みの色に設定できます。
- 背景色：背景色は実行画面の背景色です。参照ボタンで好みの色に設定できます。
- フォント：フォントは実行画面で使うフォント名や大きさを指定します。参照ボタンを押して設定します。

## ■画面サイズ設定

画面サイズ設定タブを押すと画面サイズ設定画面になります。



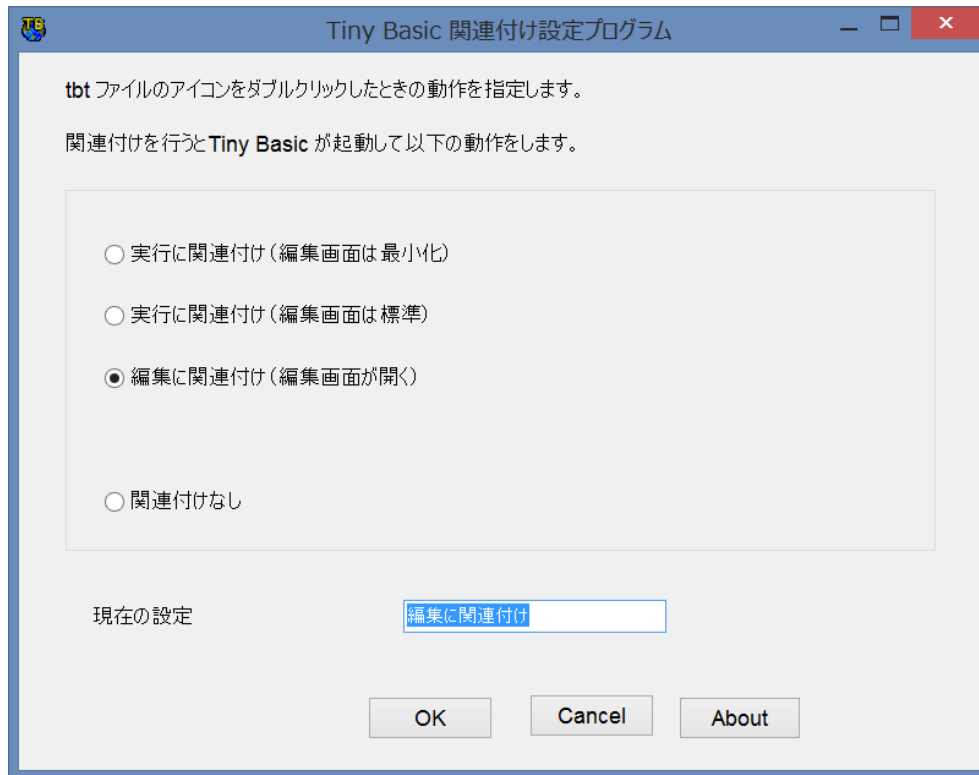
- 主画面初期サイズ：主画面は起動した編集画面の基になる画面です。幅と高さを指定できます。現在の大きさボタンを押すことで、大きさのイメージをつかむことができます。この値を参考に、ボックス内の数値を適当に設定します。
- 編集画面初期サイズ：編集画面初期サイズは新規作成や開くを実行したときに開かれる編集画面の初期サイズです。
- 実行画面初期サイズ：実行画面サイズは実行画面が開くまたは Run を実行したときの初期サイズです。

### 1.4.3 関連付け

tbasic ではプログラムファイルへの関連付けもサポートしています。関連付けを行うと、tbasic のプログラム (tbt ファイル) のアイコンをダブルクリックするだけで tbasic が起動したり、さらには実行したりするように設定することが出来ます。

関連付け設定は、環境設定のポップアップメニューにある関連付け設定・更新 (Z) をクリックします。そうすると関連付け設定メニューが表示されます。





これらを設定して、OKアイコンをクリックすれば設定されます。

この関連付けはコンピュータでの使用ユーザーが一定の権限がないと反映されません。

## 2 Tiny Basic for Windows の更新

tbasic は機能の向上のため適宜バージョンアップを行っています。しかし、それらの更新に従って皆さんのコンピュータにある Tiny Basic をすべて更新する必要は必ずしもありません。更新情報を見て、その更新が必要と思われたら、行って下さい。

それでも、いずれは更新をすることがあるでしょう。ここではその更新の仕方について説明します。tbasic の動作状況は簡単ですので、その更新方法も、以下に示すように、単純で簡単です。

### ■更新作業の手順

- (1) ファイルのダウンロード
- (2) ファイルの解凍
- (3) 更新作業
- (4) 更新の確認

以下順を追って説明します。

## 2.1 ファイルのダウンロード

tbasic はいくつかのサイトからダウンロード出来ますので、適当なところからファイルをダウンロードして下さい。最新版はホームページからダウンロードできます。

必要と思われるファイルをダウンロードして下さい。

## 2.2 ファイルの解凍

ファイルは zip 形式で圧縮されています。zip 形式のファイルを解凍するには、「ファイルを指定して、右クリックし、すべて展開」を選択して解凍してください。解凍する場所はどこでも構いません。デスクトップや、ドキュメントフォルダなど好みの場所に展開してください。

## 2.3 更新作業

更新は、解凍して出来たファイルを対応する旧ファイルに上書きするだけで終了です。

Tiny Basic Set を解凍して出来るファイルはたくさんありますが、TBasic フォルダが作成され、その中にすべて入っています。これをフォルダごと旧版の TBasic フォルダ に上書きします。TBasic フォルダがある場所へ、解凍して出来た TBasic フォルダをドラッグアンドドロップして下さい。

## 2.4 更新の確認

最後に実際に更新されたか確認してみましょう。tbasic を起動して、実行画面のバージョンが目的のものになっていればOKです。

## 3 Tiny Basic for Windows の削除

何らかの理由で、tbasic をコンピュータからアンインストール（削除）必要があるかもしれません。ここでは tbasic をコンピュータからアンインストール（削除）する方法を説明します。

tbasic の削除は以下に説明するように、簡単です。

### 3.1 レジストリに環境設定と関連付けを共にしなかった場合

この場合は、tbasic 関連のファイルを削除するだけです。普通、tbasic 関連ファイルは TBasic フォルダの中にすべて入っていますから、このフォルダを削除すれば完了です。

### 3.2 環境設定をレジストリにした場合

環境設定をレジストリにした場合、これは、tbasic の編集画面のメニューから削除できます。

それはメニューからオプション (O)・環境設定削除 (Z)・環境設定レジストリ削除 (Z) をクリックして下さい。



### 3.3 関連付けをした場合

関連付けをした場合は関連付けも削除します。それはメニューからオプション (O)・環境設定・更新 (C)・関連付け設定・更新 (Z) とたどり、関連付け設定で、関連付けなしにチェックして、OK ボタンを押して下さい。

